

患者さん  
のための

# 歯科用語集

OSAKA  
DENTAL  
UNIVERSITY



## ごあいさつ

大阪歯科大学は、平成5(1993)年に公開講座をスタートいたしました。市民の皆さまと「お口の健康」について共に学ぶことを目的に、毎年、最新の話題をテーマとして、これまで多彩な講座を開講してまいりました。夏は附属病院のある天満橋学舎、冬は楠葉学舎と、年2回開催で、今年ではや22回目を迎えることができました。今日まで一度も滞ることなく実施することができましたのは、皆さまからのご支援の賜物と、深く感謝いたしております。

さて、回を重ねるごとに、ご参加の皆さまより、さまざまなご意見を伺います。中でも多いのが、「専門用語の難しさ」についてです。歯科や医学の専門用語については、できるだけわかりやすい言葉でお伝えできるよう心がけておりますが、これが簡単なようでなかなか大変なことであります。専門用語には、その分野のさまざまな概念が組み込まれており、これを一般の言葉に置き換えて話そうとすれば、かえって説明口調に陥り、その本質をお伝えできないことにもなりかねません。そこで、このたび歯科医療において使われる基本的な用語についてまとめ、小冊子として発行いたしました。公開講座の時のみならず、日常的にもご活用いただければ幸いです。

平成 26 年 3 月

大阪歯科大学  
理事長・学長 川添 堯彬

# あ行

## アパタイト

歯や骨を構成している成分で、リン酸カルシウムの結晶でできています。硬い成分ですが、酸に溶ける性質をもっています。菌による酸によってこの成分が溶けることが虫歯の原因です。ハイドロキシアパタイトともいいます。

## アフタ性口内炎 – アфтаせいこうないえん

頬粘膜(きょうねんまく)、舌、唇などの口腔粘膜に生じる、数個の炎症性の小さな潰瘍で、原因は不明。成人の女性に多く発症し、痛みを伴います。1～2週間で治癒するものの再発しやすく、根本的な治療法はありませんが、治療薬としては副腎皮質ステロイド軟膏が処方されます。体調を整え、食事(栄養)に留意することが早期の治癒につながります。

## アマルガム

水銀と他の金属との合金の総称で、一昔前まで虫歯の治療でよく使われていた材料です。最近では、見た目に優れた歯科材料の開発や、水銀の環境汚染との関係もあり、日本ではほとんど使用されなくなっています。

[図1]

[図1] アマルガム



## アルギン酸塩印象材

### – アルギンさんえんいんしょうざい

歯と口の中の型を採る（歯科では「印象採得 – いんしょうさいとく」という際に、使われる粘土のような歯科材料。アルジネート印象材ともいいます。 ⇒ 印象採得 – いんしょうさいとく

### RDテストーアールディーテスト

[図2]

[図2] RDテスト

レザズリンという試薬を使って、唾液から虫歯菌の数を調べることで、15分程度で口の中の衛生状態が判定できます。試薬シートの色の変化により細菌量がわかり、虫歯予防の目安となります。



### アンレー

虫歯が進行して削る部分が多いとき、歯の噛み合わせ部分をおおう金属の詰め物です。インレーの一種。

⇒ インレー

### 育成医療ーいくせいりょう

障害者自立支援法の成立に基づき、平成18年4月から育成医療は、新たに自立支援医療（育成医療）となり制度改正が行われました。育成医療とは、18歳未満で身体に障害がある方、あるいはこれを放置すると将来障害を残すと認められる方で、手術等によって障害の改善が見込まれる方を対象に医療費の助成を行うものです。指定育成医療機関で治療等を受け、各自治体に申請することにより、診療費は原則として1割だけが自己負担となります。また、自己負担額については、世帯の所得に応じた月額上限額が設定されています。ただし、市町村民税額に基づき、適用されない場合もあります。歯科では、口唇口蓋裂の手術とその後の矯正治療が育成医療に該当します。

### 入れ歯ーいれば

抜けたあとに入れる補綴物（ほてつぶつ）の一種。

⇒ 義歯ーぎし、補綴ーほてつ

### 印象採得 - いんしょうさいとく

歯の治療において、詰め物やかぶせ物を製作するために患者さんの歯と口の中の型を採ること。トレーと呼ばれる器具にアルギン酸塩印象材などを盛り、患者さんの歯列に沿ってかぶせ、固まるのを待って印象材を除去します。

⇒ [アルギン酸塩印象材 - アルギンさんえんいんしょうざい](#)

### インプラント

歯がなくなった部位のあごの骨にチタンなどでできた人工の支柱を埋め込み、その支柱に人工の歯を接合させる外科的な治療方法。保険適用外。

⇒ [オッセオ・インテグレーション](#)

[図3]

[図3] インプラント



### インレー

虫歯の治療で削った部分を埋める詰め物の一種。金属のほか、レジンやセラミックが使われます。

⇒ [セラミック](#), [レジン](#)

[図4]

[図4] インレー



### う窩 - うか

「う蝕 - うしょく」(虫歯)によってできた穴のこと。う蝕の治療では、まず虫歯菌に感染した部分を完全に除去し、う蝕の進行を阻止します。⇒ [う蝕 - うしょく](#)

### う歯 - うし

虫歯のこと。正式な歯科用語は「齲蝕歯 - うしょくし」

### う蝕 - うしょく

虫歯のこと。口の中にいる細菌により歯の組織(歯質)が破壊され、穴ができること。口腔内では常時、細菌のつくる酸によ

て歯のエナメル質が溶かされること（脱灰－だっかい）と、唾液などによって修復されること（再石灰化－さいせっかいか）が繰り返されています。口腔内が酸性に傾くと、う蝕の要因となります。

⇒ 脱灰－だっかい, 再石灰化－さいせっかいか

### ▼ 永久歯－えいきゅうし

乳歯から生え替わる 32 本の歯のこと。

### ▼ エナメル質－エナメルしつ

歯の最も外側の硬い部分。⇒ 歯質－ししつ

### ▼ FC－エフシー

フォルム・クレゾールの略。歯の根っこの治療「根管治療－こんかんちりょう」に使用する薬品の一種。

⇒ 根管治療－こんかんちりょう

### ▼ MTM－エムティーエム

ミニマム・トゥース・ムーブメントの略。少数の歯だけを部分的に動かす歯列矯正のこと。

### ▼ 嚥下－えんげ

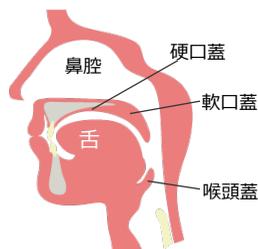
食べ物などを飲み込むこと。嚥下運動とは、舌や軟口蓋（なんこうがい）や喉頭蓋（こうとうがい）などの諸器官が食べ物を胃まで送る一連の働きのことをいいます。

### ▼ 嚥下障害－えんげしょうがい

疾病（脳卒中など）や老齢により食べ物が飲み込めなくなったり、飲み込む機能に障害があったりすること。歯の喪失や唾液の減少「口腔乾燥症－こうくうかんそうしょう」なども大きな要因と

【図5】

【図5】 嚥下



考えられています。

⇒ 口腔乾燥症 - こうくうかんそうしょう

### 炎症 - えんしょう

体の組織の一部が損傷したり、細菌などの侵入を受けたりすると、体は防御反応を起こします。発熱、はれ、痛みという症状がそれで、炎症反応と呼ばれています。炎症とは、実は損傷や感染に対して白血球などが組織を修復しようとする働きなのです。

### 遠心 - えんしん

歯科では奥歯への方向のことを遠心といいます。

⇔ 近心 - きんしん

### エンド

エンドンティックスの略。「歯内療法 - しないりょうほう」あるいは「根管治療 - こんかんちりょう」のことで、主に歯の神経(歯髄 - しずい)の治療を行います。

⇒ 根管治療 - こんかんちりょう, 歯内療法 - しないりょうほう,  
歯髄 - しずい

### オッセオ・インテグレーション

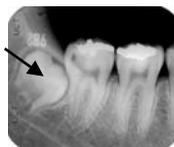
生体との親和性が高くアレルギー反応が少ないチタン製の人工歯根を顎の骨に埋め込み、結合させること。治療法である「オッセオ・インテグレイテッド・インプラント」は、現在のインプラント治療の主流となっています。

### 親知らず - おやしらず

[図6]

[図6] 親知らず

一番奥にある上下左右4本の「第三大臼歯-だいさんだいきゅうし」のことで、「智歯-ちし」ともいいます。通常20~30歳ぐらいまでに生えてきますが、生えてこない人もあります。親知らずは時々厄介な疾患を起こします。遅れて生えてくるため、出てくるスペースがなく曲がったり、変な形で生えてきたりすると清掃がしにくく、虫歯や歯周病になりやすいです。歯ぐきの中に埋もれて生えている場合もあります。上下のどちらかだけが生えてくる場合もあり、噛み合わせがおかしくなることもあります。他への悪影響が大きい場合は、抜歯することになります。口腔外科でご相談ください。⇒ [大臼歯-だいきゅうし](#)



### オールセラミッククラウン

[図7]

[図7] オールセラミッククラウン

金属を全く使わずに、セラミック(陶材)のみで作られた歯のかぶせ物のこと。見た目が自然歯と変わらず審美性に優れ、変色もしにくいのが特長です。保険適用外。

⇒ [セラミック](#)

# か行

## 開咬 – かいこう

[図8]

「不正咬合 – ふせいこうごう」の一種。口を閉じたとき、前歯の上下に大きなすき間がある状態。前歯で食べ物を噛み切ることができず、また発音もはっきりしなかったりします。矯正治療により改善することができます。

⇒ 不正咬合 – ふせいこうごう

[図8] 開咬



## 外傷歯 – がいしょうし

[図9]

交通事故や打撲、怪我などにより折れたり（破折 – はせつ）、脱落（脱臼 – だっきゅう）した歯のこと。

⇒ 歯牙破折 – しがはせつ

[図9] 外傷歯



## 外傷性咬合 – がいしょうせいこうごう

歯に大きな負担がかかった状態が続いたときに起こる歯周組織の病変のことで、咬合性外傷（こうごうせいがいしょう）ともいいます。歯ぎしりなど強い力が加わって起こる「一次性咬合性外傷」と、歯周病などが原因で起こる「二次性咬合性外傷」に分類されます。

## 下顎 – かがく

下あごのこと。⇔ 上顎 – じょうがく

### 下顎前突 – かがげんとつ

[図10]

[図10] 下顎前突

「不正咬合 – ふせいこうごう」の一種。一般的に「受け口」と呼ばれており、口を閉じたとき前歯の下の歯が前に出ている状態。矯正治療で治せます。

⇒ 不正咬合 – ふせいこうごう, 上顎前突 – じょうかがげんとつ



### かかりつけ歯科医 – かかりつけしかい

2000年から始まった制度で、歯の治療だけでなく、定期検診や歯に関する相談など、さまざまな面でサポートする身近な歯科医療機関のこと。患者は診療に関する情報の提供を要求できます。

### 顎関節症 – がかんせつしょう

噛む時に顎（あご）の関節が痛い、口を大きく開けられない、口を開閉するとき変な音がするなど、顎周辺の機能障害の総称です。原因は噛み合わせの異常や歯ぎしり、外傷、精神的ストレスなどです。虫歯、歯周病に次いで多い歯科疾患になりつつあります。

### 顎変形症 – がかへんけいしょう

[図11]

[図11] 顎変形症

生まれつき、あるいは顎の成長に伴い顎や口元が変形し、歯の噛み合わせ（咬合 – こうごう）などに問題がある疾患のこと。外科的矯正治療（歯列矯正治療と顎矯正手術）を行います。保険適用。



### 架工義歯 – がかこうぎし

⇒ ブリッジ

### 架工歯 – がかこうし

⇒ ポンテック

### ▼ 過剰歯 – かじょうし

[図12]

[図12] 過剰歯

親知らずを含め、通常生える 32 本の歯以外に生える余分な歯のこと。



### ▼ 仮着 – かちやく

完成した補綴物〔ほてつぶつ〕(かぶせ物)を仮のセメントで付け様子を見ること。仮に装着した状態で日常生活をしてもらい、噛み合わせの状態、装着感、審美性などを点検し、問題があれば再調整を行い、問題がなければ正式にセメントで着着します。→ 合着 – ごうちやく

### ▼ ガッターパーチャ

根管治療〔こんかんちりょう〕終了時に、根管を封鎖するときに使う樹脂製の材料。根管充填材(剤)〔こんかんじゅうてんざい〕  
→ 根管治療 – こんかんちりょう, 根管充填 – こんかんじゅうてん

### ▼ 可撤性 – かつせい

入れ歯などのように取り外しができることをいいます。

### ▼ 可撤性架工義歯 – かつせいかこうぎし

固定性の架工義歯(ブリッジ)を、取り外しできるように可撤装置を施したもの。清掃面に優れています。

### ▼ 窩洞形成 – かどうけいせい

虫歯を除去した後に、修復するための詰め物やかぶせ物の特性に合わせて、削った部分の形を整えること。

### ▼ 仮封材 – かふうざい

虫歯を除去した穴(窩洞 – かどう)や根管〔こんかん〕に、一次的に詰める酸化亜鉛ユージノールセメントなどの仮の詰物。

## ▼ カリエス

虫歯のこと。Caries の頭文字をとり、「C1」などで虫歯の進行度を表します。⇒ う蝕-うしょく

## ▼ カリエスリスク

虫歯になる危険度のことで、口腔内の細菌の種類や数を調べることにより定量的に測定します。  
⇒ RD テスト-アールディーテスト

## ▼ 仮歯-かりば

治療の途中に、仮に入れておく歯。テンポラリークラウン。

## ▼ 観血的処置-かんけつてきしよち

抜歯などの出血を伴う治療のこと。

## ▼ 感染根管-かんせんこんかん

口腔内細菌に感染した根管(歯の根っこ)のこと。感染した歯髄(しずい)の除去、清掃、消毒などの根管治療(こんかんちりょう)が必要です。

⇒ 根管治療-こんかんちりょう, 歯髄-しずい

## ▼ 義歯-ぎし

入れ歯のこと。総入れ歯(総義歯-そうぎし・全部床義歯-ぜんぶしょうぎし)と、部分入れ歯(局部床義歯-きよくぶしょうぎし)があります。一般的には、さし歯やブリッジなどの固定するかぶせ物は含みません。使用する材料・装置などによって保険の適用範囲が定められており、それにより費用が大きく変わります。

⇒ 総義歯-そうぎし, 局部床義歯-きよくぶしょうぎし

【図13】

【図13】 義歯

〈総義歯〉 〈局部床義歯〉



### 義歯床－ぎししょう

義歯のうち歯の抜けた歯ぐきを補っているピンク色の部分のこと。顎の粘膜と直接接し、義歯を維持安定させています。材料としては、アクリルレジン（樹脂）や複合レジンが用いられますが、強度を高めるために金などの金属も使われます。

### 義歯調整－ぎしちょうせい

完成した義歯を装着した時やその後生じる噛み合わせの不具合、義歯床と接する粘膜への障害などに対して調整を行うこと。一般的に義歯は無調整で機能することは少なく、噛み合わせや、義歯が粘膜に触れる面とその周りの形態など、調整を重ねながらその人に適合した義歯を作り上げます。

### 義歯の清掃－ぎしのせいそう

義歯を装着していると、表面に歯垢（しこう）や歯石（しせき）などがつきます。これらをデンチャーブラークといいますが、放っておくと粘膜の炎症や残っている歯（残存歯－ざんぞんし）のう蝕や歯周病の原因となります。したがって、専用の歯ブラシなどを用いて適度な義歯の清掃が必要となります。歯科医師にご相談ください。

### キシリトール

白樺やトウモロコシに含まれる成分を元に作られる甘味料。砂糖と違い虫歯の原因となる酸を産生せず、非う蝕性甘味料として知られています。

### 臼歯－きゅうし

食物をすり潰す役割をもつ、前から4番目を含む奥の歯のことで、上下左右で20本あります。

### 吸入鎮静法－きゅうにゅうちんせいほう

治療に対する不安感や恐怖心の強い患者さんに対し、吸入麻酔剤を用いて緊張度を和らげ治療を行うこと。歯科では、現在麻酔剤として笑気ガスを鼻から吸入する方法が用いられています。回復が速く、副作用の少ない方法です。

⇒ 笑気鎮静法－しょうきちんせいほう

### 矯正歯科－きょうせいしか

[図14]

[図14] 歯科矯正  
ワイヤーによる歯列矯正

出っ歯(上顎前突－じょうがくぜんとつ)、受け口(下顎前突－かがくぜんとつ)、乱杭歯(らんぐいば)、八重歯(叢生－そうせい)などを治療し、きれいな歯並びと顔貌にする歯科の診療科の一つ。



### 頬側－きょうそく

歯の表側すなわち、頬の側のこと。 ⇔ 舌側－ぜつそく

### 局所麻酔－きよくしよますい

治療する部分に、直接麻酔を注射して痛みを抑える麻酔方法。一定部位だけの末梢神経を麻痺させる方法で、患者の意識は消失しません。局所麻酔は、薬剤により組織の表面だけを麻痺させる「表面麻酔法」、麻酔液を注射し組織内に浸潤(しんじゆん)させる「浸潤麻酔法」、組織の周囲あるいは神経幹に注射する「伝達麻酔法」に分類されます。歯科領域では、治療あるいは抜歯等の外科手術において主に浸潤麻酔法が使われます。場合により、伝達麻酔法も使われます。

⇒ 浸潤麻酔－しんじゆんますい、伝達麻酔－でんたつますい

### 局部義歯－きよくぎし

部分的な歯の喪失を補う補綴物(ほてつぶつ)のこと。固定性の「架工義歯－かこうぎし」(ブリッジ)と、取り外し可能な「局部

床義歯-きよくぶしようぎし」に分類されるが、一般的には後者と  
同義で用いられます。

⇒ ブリッジ、局部床義歯-きよくぶしようぎし

### 局部床義歯-きよくぶしようぎし

[図15]

[図15] 局部床義歯

部分入れ歯。部分的な歯の喪失を補う補綴物(ほてつぶつ)の  
ことで、部分床義歯やパーシャルデンチャーともいいます。欠損  
歯の数や残った歯の状況により、クラスプやアタッチメントを用い  
たさまざまな種類の局部床義歯が作られます。



⇔ 総義歯-そうぎし, ⇒ クラスプ

### 金銀パラジウム合金-きんぎんパラジウムごうきん

詰め物などによく使われる銀色の歯科材料。成分は、銀とパラ  
ジウムを基本に、金と銅が加えてあります。略して「金パラ」とも  
いいます。保険適用。

### 金合金-きんごうきん

歯科用金属の一つ。金は他の金属とよく融合し、白金やパラ  
ジウムと合わせると白色のホワイトゴールドになります。

保険適用外。

### 銀合金-ぎんごうきん

乳歯の詰め物や、根管治療(こんかんちりょう)後のかぶせ物の  
土台によく使われる歯科材料。銀を主成分とする合金で、比  
較的安価で casting やすく 技工も容易であるためよく使われます。

保険適用。 ⇒ 根管治療-こんかんちりょう

### 近心-きんしん

歯科では前歯への方向のことを近心といえます。

⇔ 遠心-えんしん

### 金属アレルギーーきんぞくアレルギー

[図16] [図16] 金属アレルギー

歯に詰めた金属が溶け出してイオン化し、たんぱく質と結合して抗原となりアレルギー反応を引き起こすことがあります。症状として、皮膚炎、湿疹、舌炎などが出ます。パッチテストにより金属アレルギーの有無を調べます。



2008年10月23日前後撮影  
女性（昭和28年1月2日生）  
掌蹼膿疱症（金属アレルギーによる）  
パッチテスト結果：金、ニッケル、水銀に陽性

### 金属冠ーきんぞくかん

[図17]

[図17] 金属冠

虫歯などが原因で歯冠〔しかん〕（歯の見える部分）が広範囲に崩壊した場合、治療後に歯冠をおおう金属のかぶせ物。メタルクラウンともいいます。



### 金属床義歯ーきんぞくしょうぎし

[図18]

[図18] 金属床義歯

義歯の土台部分に金属を使用したもの。義歯の土台は通常、加工しやすく審美性にも優れたアクリル樹脂（樹脂）を使いますが、土台の一部に金属を使えば強度を高めることができます。また、金属を使えば薄くなり、装着に違和感が少なくなります。保険適用外。



### 金パラーきんパラ

⇒ 金銀パラジウム合金ーきんぎんパラジウムごうきん

### クラウン

[図19]

[図19] クラウン

虫歯により歯の大部分が欠けている場合、悪い部分を削ったあと、歯全体をおおうかぶせのこと。主に金属が使われますが、審美性を考慮したレジン（樹脂）やセラミック（陶材）もあります。使用する材料で保険の適用範囲が定められており、それより費用が大きく異なります。



### ▼ グラスアイオノマーセメント

比較的小さな虫歯の治療に使われる詰め物の一つ。  
保険適用。

### ▼ クラスプ

入れ歯を作るとき、残っている歯に引っ掛けて入れ歯を安定させる、針金のような装置のこと。鉤(こう)ともいいます。

### ▼ 欠損-けっそん

歯が根っこから失われてしまった状態のこと、また歯が失われた部分のこと。

### ▼ 犬歯-けんし

前から3番目の永久歯のこと。糸切り歯。

### ▼ コア

虫歯などにより歯冠(しかん)の大部分が失われ、根っこの部分だけが残った歯に立てる人工の土台のこと。コアを作ることを支台築造(しだいちくぞう)といいます。支台築造のあと上からかぶせ物を合体させます。金属でできたメタルコア(キャストコア)や樹脂でできたレジンコアなどがあります。

[図20]

[図20] コア

〈メタルコア〉



〈レジンコア〉



### ▼ 誤飲-ごいん

飲食物ではない異物を誤って飲み込んでしまい、消化管の中で異物となること。歯科治療において、器具や材料を飲み込むこともあります。胃まで届いた異物は通常腸管を経て排出されます。

### ▼ 口蓋 - こうがい

口腔の上壁部分のこと。前方の内部の骨と密着している硬い部分を「硬口蓋 - こうこうがい」、その後方の柔らかい部分を「軟口蓋 - なんこうがい」と呼びます。

### ▼ 口蓋裂 - こうがいれつ

口蓋(こうがい)が割れた状態で生まれてくる、先天的な赤ちゃんの病気で、上唇が割れた「口唇裂 - こうしんれつ」を合併していることが多いです。胎生8週ごろに口蓋突起(こうがいとっき)(上顎にある突起のひとつ)と鼻中隔(びちゅうかく)(鼻の内部を左右に仕切る壁)が合わさること(癒合 - ゆごう)により口蓋が形成されますが、何らかの原因でこの癒合がうまくいかずに口蓋裂を生じると考えられています。口蓋裂の治療として、2歳ごろに口蓋形成手術を行います。口蓋の裂を閉じることで、その機能と言語障害の回復をはかります。術後も言語訓練、矯正治療など長期の治療が必要とされます。

⇒ [口唇裂 - こうしんれつ](#)

### ▼ 口角 - こうかく

唇の端のことで、上唇と下唇がつながっている部分。

### ▼ 口腔 - こうくう

口の中のこと。歯科では「こうくう」と読みます。口腔すなわち口は、消化器官の最初の部分であり、食物の摂取し、噛み砕き(咀嚼 - そしゃく)、飲み込む(嚥下 - えんげ)役割を担っています。そうした機能を果たすため、歯、舌、歯周組織、唾液が協力して働いています。また、呼吸の補助的な役割や発音機能をもっています。

## ▼ 口腔癌 – こうくうがん

口腔領域にできる癌（悪性腫瘍 – あくせいしゅよう）のこと。発生部位により舌癌（ぜつがん）、歯肉癌（しにくがん）、口底癌（こうていがん）、頬粘膜癌（きょうねんまくがん）、口唇癌（こうしんがん）などがあります。原因として、歯や補綴物（ほてつぶつ）の粘膜への刺激、喫煙・飲酒などがあげられます。また、「白板症 – はくばんしょう」や「紅板症 – こうばんしょう」などの口腔粘膜疾患を放置しておくことで癌化する可能性があります。

## ▼ 口腔カンジダ症 – こうくうカンジダしょう

カビの一種である真菌類（しんきんるい）のカンジダ菌により起こる口腔粘膜の疾患。舌や頬に白い苔のようなものが附着します。

## ▼ 口腔乾燥症 – こうくうかんそうしょう

加齢やストレスなどが原因で唾液の分泌量が低下し、口の中が乾く病気でドライマウスともいいます。また、唾液腺自体に影響を及ぼしている原因として、唾液腺腫瘍やシェーグレン症候群なども考えられるため病院での診察が必要です。放置すると虫歯や歯周病、嚥下障害（えんげしょうがい）の原因にもなります。

⇒ シェーグレン症候群 – シェーグレンしょうこうぐん

嚥下障害 – えんげしょうがい

## ▼ 口腔ケア – こうくうケア

虫歯や歯周病の治療と予防、歯の磨き方、入れ歯の手入れなど歯と口の健康を増進させる総合医療および介護のこと。

## ▼ 口腔外科 – こうくうげか

抜歯、顎の骨折、口腔癌、顎変形症、顎関節症など外科的処置を行う歯科診療科目の一つ。

## ▼ 咬合 – こうごう

歯の噛み合わせのこと。歯の噛み合わせは、歯科では重要なことであり、歯科医師は治療において細心の注意をはらい正しい咬合になるよう努めています。

## ▼ 咬合採得 – こうごうさいとく

[図21]

[図21] 咬合採得

歯科技工物を作るにあたって、軟化させたワックスなどを上下の歯の合わさった型取りをし、噛み合わせを調べる。バイトともいいます。



## ▼ 咬合紙 – こうごうし

噛み合わせの確認をする時（咬合調整）に使う、上下の歯の間に紙を挟んで噛ませ、歯に色を付ける紙のこと。

⇒ 咬合調整 – こうごうちようせい

## ▼ 咬合性外傷 – こうごうせいがいしょう

⇒ 外傷性咬合 – がいしょうせいこうごう

## ▼ 咬合調整 – こうごうちようせい

噛み合わせのバランスが悪く、一部の歯に必要以上の負担がかかってしまっている時に、歯や人工歯を少し削ることによって、バランスよく咬合力を分散させ噛み合わせを調整すること。

## ▼ 咬合平面 – こうごうへいめん

歯を噛み合わせた時に、上下の歯が接する平面のことで、入れ歯を作る時などの基準となります。

## 口呼吸－こうこきゅう、くちこきゅう

通常、呼吸は鼻から行いますが、鼻の障害などにより口で呼吸する状態をいいます。口呼吸を続けていると、歯肉〔しにく〕や口腔粘膜が常時空気にさらされて乾燥し、炎症を起こしやすくなります。原因として、扁桃炎〔へんとうえん〕や蓄膿症〔ちくのうしょう〕、アデノイドなどの鼻の障害、開咬〔かいこう〕や上顎前突〔じょうがくぜんとつ〕など口唇閉鎖が困難な歯科疾患によるもののほか、習慣性の口呼吸もあります。それぞれの原因に基づき耳鼻科あるいは歯科での治療が必要です。

⇒ 開咬－かいこう、上顎前突－じょうがくぜんとつ

## 硬質レジン－こうしつレジンは

歯の詰め物やかぶせ物に使われるプラスチックのような歯科材料。これまでのレジンに比べて高密度であるため硬度や耐磨耗性に優れているが、変色に弱いといった欠点もあります。

保険適用。 ⇒ レジン

## 硬質レジン前装冠－こうしつレジんぜんそうかん

[図22]

中の部分は金属（金銀パラジウム合金など）を使い、外から見える部分は硬質レジンが貼り付けられているクラウン（かぶせ物）のことで、前歯の差し歯としてよく使われます。保険適用。

⇒ クラウン、レジン

[図22] 硬質レジン前装冠



## 口臭－こうしゅう

口腔から発散される悪臭のある呼吸のこと。原因は口腔由来するものとそれ以外のものがあります。口腔以外による原因としては、疾患の一症状として口臭があらわれることがあり、鼻疾患、糖尿病、肝臓疾患などが考えられます。また、飲酒や喫煙、嗜好物によっても口臭が発生します。口腔由来の口臭は、原因の90%が歯周病だといわれています。歯と歯ぐきの

間の歯周ポケット内の歯垢や食べ物の残り、細菌による歯肉〔しにく〕の潰瘍化や悪臭物質の産生により口臭が発生します。悪臭の成分は、揮発性の硫化物やアンモニアです。歯磨きなど口腔内の清掃をきちんと行うとともに、歯周病の場合は歯科医院で治療しましょう。また最近、口臭が臨床的には感知されないのに口臭を訴える人が増えています。これは「自臭症－じしゅうしょう」と呼ばれるもので、心因性要素が多分に関与しています。歯科で診察してもらい専門家のアドバイスを受けましょう。

⇒ 自臭症－じしゅうしょう

### ▼ 口唇ヘルペス－こうしんヘルペス

[図23]

[図23] 口唇ヘルペス

単純ヘルペスウイルスの感染によって唇の周りなどに水泡ができる病気です。唇に灼熱感や疼痛〔とうつう〕、膨張があり、ついで小水泡が形成されますが、数日で自然治癒することが多く、治療は抗生物質の軟膏を塗布します。原因は消化器障害、感冒〔かんぼう〕、紫外線照射、月経、ストレスなどがあげられ、免疫力が低下している時にかかりやすい病気です。

⇒ 疼痛－とうつう



### ▼ 口唇裂－こうしんれつ

上唇の合わせ目がくっつかないで生まれてくる、先天的な赤ちゃんの病気。唇裂〔しんれつ〕ともいいます。原因は複合的な要因が考えられていますが、特定はされていません。約500人に1人の割合で発生するといわれています。外見的な障害は手術によりほぼ改善できますが、言語、歯並び、顎の発達などにおいて障害が考えられるため、長期にわたる総合的な治療が必要となります。⇒ 口蓋裂－こうがいれつ

### ▼ 合着－ごうちやく

インレーなどの詰め物、クラウンやブリッジなどの補綴物〔ほてつぶつ〕をセメントで正式に装着すること。⇒ 仮着－かちやく

### 口内炎－こうないえん

[図24]

[図24] 口内炎

口腔粘膜が赤く腫れたり、できものができたりする炎症性の病気のこと。口腔粘膜の2か所以上の部位で炎症が見られる場合を口内炎といい、特定部位に単独で発生する炎症は、それぞれ歯肉炎〔しにくえん〕、口唇炎〔こうしんえん〕、舌炎〔ぜつえん〕などといいます。アフタ性・カタル性・潰瘍性・壊疽〔えそ〕性などの種類があり、症状としては接触痛、唾液分泌過多、口臭、発熱などが共通して見られ、食欲不振や倦怠感を伴うことが多いようです。治療は、感染などが原因の場合は抗生物質を投与します。また、軟膏を塗布します。

⇒ アフタ性口内炎－アフタせいこうないえん



### 咬耗－こうもう

歯が繰り返して噛み合わさり接触することにより、年齢を経るに伴ってエナメル質や象牙質が磨耗すること。咬耗の進行度には歯ぎしり、咬合力の強さ、食生活などが関与しており、咬耗が著しい場合は咬耗症といいます。

⇒ エナメル質－エナメルしつ, 象牙質－ぞうげしつ

### 誤嚥－ごえん

誤って食物、唾液などが気管に入ってしまうこと。健康な人は異物が気管に入ると、激しく咳き込むことで異物を外に出すことができますが、高齢者や咳反射の低下している人は異物を出すことができず、気管支まで入ってしまいます。

### 誤嚥性肺炎－ごえんせいはいえん

誤って異物が気管に入ってしまうことで生じた肺炎のこと。誤嚥により、異物とともに口腔内の細菌も肺の中に取り込まれ肺炎を発症します(細菌性誤嚥性肺炎)。

## ▼ コーヌスクローネ

局部床義歯(きよくぶしょうぎし)で、クラスプを使わず、残っている歯に金属のかぶせ物をして義歯と合体させる装置。

保険適用外。⇒ 局部床義歯-きよくぶしょうぎし, クラスプ

## ▼ 根管-こんかん

歯の最も内側には、歯の生活機能をつかさどる「歯髄-しずい」という組織があり、その全体を「歯髄腔-しずいくう」といいます。歯髄腔は、歯冠(しかん)部分の内側を髓室(ずいしつ)といい、歯ぐきの中の歯根(しこん)部分を根管といいます。根管は、前歯では1本ですが、奥歯では歯根の数にあわせて2〜3本、あるいはそれ以上あります。

⇒ 歯髄-しずい, 歯冠-しかん, 歯根-しこん

## ▼ 根管充填-こんかんじゅうてん

根管治療が済み、歯の根の部分に細菌などが入らないように根管充填材(剤)と呼ばれる詰め物をする。略して「根充-こんじゅう」といいます。

## ▼ 根管治療-こんかんちりょう

虫歯が進行して歯髄(しずい)が死んでしまった時に行う治療のこと。X線写真で根管の長さや状況を調べ、リーマー・ファイルと呼ばれる歯科器具などで根管の先端部分である根尖部(こんせんぶ)まで歯髄(しずい)の残片や感染した象牙質などの除去と消毒を繰り返し行い、最後に感染を防止する薬を注入します。略して「根治-こんち」といいます。

⇒ 歯髄-しずい, リーマー・ファイル

### 混合診療－こんごうしんりょう

保険診療と自費診療を取り混ぜて行う診療のこと。日本では現在、混合診療は認められていません。一部例外的に、厚生労働省が認めた「先進医療」などにおいて自費診療に保険診療の併用が可能となっています。

### 根尖病巣－こんせんびょうそう

[図25]

[図25] 根尖病巣

虫歯が進行して歯髄(しずい)にまで感染が及び、根管の先端部分である根尖部(こんせんぶ)に発生した病変のこと。根尖病巣では、根尖周囲の歯槽骨(しそうこつ)が、破骨細胞(はこつさいぼう)によって融解され、慢性的な化膿巣(膿のたまり場)が形成されています。



### コンポジットレジン

[図26]

[図26] コンポジットレジン

プラスチック(レジン)にガラスの微粉末(フィラー)を混合して複合化し、材質が強化されたレジンのこと。複合レジンともいいます。虫歯の治療の詰め物としてよく使われます。保険適用。  
⇒ レジン



## 再石灰化 – さいせつかいか

初期の虫歯において、脱灰(だっかい) (歯のエナメル質が虫歯菌の出す酸の働きにより溶け出すこと) が起きた部分を修復する働きのこと。再石灰化には唾液が深く関与しており、唾液中のカルシウムやリンが歯に付着してエナメル質を修復します。また、唾液には酸を中和する働きもあります。

⇔ 脱灰 – だっかい

## 在宅診療 – ざいたくしんりょう

体が不自由な人や寝たきりの人などが歯科診療を受けられるように、歯科医師や歯科衛生士が直接出向いて診療や口腔ケアを行うこと。

## サイナスリフト

人工歯根(インプラント)を挿入するスペースを確保するために、上顎の空洞部分(上顎洞 – じょうがくどう)に骨などを移植して、顎の骨の量を増やす手術のこと。

## さし歯 – さしば

根の部分だけが残っている歯に土台(コア)を埋め込み、その上に人工の歯を装着すること。 ⇒ コア

[図27]

[図27] さし歯



## 暫間固定法 – ざんかんこていほう

歯周治療において、歯周病が原因で歯がグラグラしている場合に、両側の歯などと一次的に固定して安定させる治療法。

## ▼ C-シー

虫歯のこと。Caries〔カリエス〕の頭文字です。歯科では、虫歯の進行度を「C」を使って表します。

C0	治療の必要は無いものの、虫歯の初期症状が現れている状態で、観察を要する
C1	虫歯の初期段階で歯の表面のエナメル質が虫歯になっている状態
C2	虫歯が進行して象牙質が虫歯になっている状態
C3	虫歯が歯髄〔しずい〕にまで進行してしまった状態
C4	虫歯によって歯冠部分がほとんど失われてしまい、歯根部分だけが残っている状態

それぞれの進行段階に応じた治療が必要となります。できるだけ初期段階で治療し、虫歯の進行を止めることが大事です。

⇒ カリエス, う蝕-うしょく

## ▼ シェーグレン症候群-シェーグレンしょうこうぐん

自己免疫疾患の一種で、涙腺や唾液腺など外分泌腺の障害により、口腔や眼球の乾燥症状を特徴とします。眼の異物感や視力低下をまねき、虫歯の原因にもなります。中年女性に比較的多く発症します。⇒ 口腔乾燥症-こうくわんそうじょう

## ▼ シェード

人工歯などの色のこと。人工歯や補綴物〔ほてつぶつ〕は、周囲の歯の色と調和させるため色見本により色を決めます。

## ▼ 歯牙-しが

歯のこと。歯科では、歯のことを「歯牙-しが」という言い方で使われる場合が多くあります。もともと、動物の歯が歯と牙から成り立っているためです。

### ▶ 歯科衛生士－しかいせいし

歯科治療の前後の口腔内清掃など歯科診療補助や歯科衛生指導、予防指導を行う専門職のことで、厚生労働大臣が認定する国家資格です。

### ▶ 歯科技工士－しかぎこうし

歯科医師の指示のもと、義歯（入れ歯）やかぶせ物などの歯科技工物を作製する専門職のことで、厚生労働大臣が認定する国家資格です。

### ▶ 歯科助手－しかじょしゅ

日本歯科医師会が資格認定した、診療の介助、受付など歯科衛生士や歯科技工士がする業務以外の歯科診療の業務をする人のことです。

### ▶ 歯牙破折－しがはせつ

顔面を強打したときなどに、歯の表面や歯根が欠けたり折れたりすること。⇒ 外傷歯－がいしょうし

### ▶ 歯牙漂白－しがひょうはく

⇒ ホワイトニング

### ▶ 歯科用CT－しかようシーティー

歯科用 CT は、歯科に特化した CT 装置のことで、医科用 CT とは区別されます。デンタル CT あるいはコーンビーム CT（CBCT）とも呼ばれます。主にデンタルインプラント（人工歯根）、親知らずの抜歯、矯正歯科症例でみられる埋伏歯（まいふくし）、歯内療法（しないうりょうほう）などの歯科治療・診断に用いられます。歯科用 CT 撮影は三次元の高画質画像を用いるこ

[図28]

[図28] 歯科用 CT



とで、パノラマエックス線撮影法や口内法エックス線撮影法では判別できない痛みや症状の原因の特定に有用性が高いとされています。

### ▼ 歯科用セメントーしかようセメント

詰め物やかぶせ物を歯に装着するときなどに使う歯科材料。

### ▼ 歯冠ーしかん

歯の中で歯ぐきから出ている、外から見える部分のこと。

⇔ 歯根ーしこん

### ▼ 歯間ーしかん

歯と歯のすき間のこと。

### ▼ 歯間乳頭ーしかんにゅうとう

歯と歯の間にある歯肉(しにく)の部分。歯周病になると歯肉が後退し、すき間ができます。

### ▼ 歯間ブラシーしかんブラシ

歯と歯の間を清掃するためのブラシ。歯と歯のすき間が広い場合は、この歯間ブラシを使うと効果的に歯垢(しこう)を取り除くことができます。 ⇒ 歯垢ーしこう

### ▼ 歯頸部ーしけいぶ

歯と歯肉(しにく)の境目。専門的には、歯冠部(しかんぶ)と歯根部(しこんぶ)の境目のこと。 ⇒ 歯冠ーしかん, 歯根ーしこん

### ▶ 歯垢－しこう

口の中にいる細菌が作り出す、虫歯や歯周病の原因となる物質のことで、食べかすや細菌などのかたまり。プラーク。

### ▶ 歯根－しこん

歯の中で、歯肉（歯ぐき）に覆われたあごの骨に埋まっている部分のこと。⇔ 歯冠－しかん

### ▶ 歯根吸収－しこんきゅうしゅう

乳歯の生え変わりの時期などに、歯根部分の象牙質やセメント質が溶けて歯が抜けやすくなること（生理的歯根吸収）。それ以外にも、外傷や歯根の炎症、腫瘍性病変（できもの）や嚢胞性疾患（膿の袋を持ったもの）などが原因で歯根吸収が起きる場合があります。

⇒ 象牙質－ぞうげしつ、セメント質－セメントしつ

### ▶ 歯根嚢胞－しこんのうほう

進行した虫歯によって、歯根の先端に膿の袋ができ、炎症を起こす病気のこと。上の前歯によく発生し、嚢胞が拡大するに伴い、周囲の歯槽骨〔しそうこつ〕や歯根の先端部分の歯質破壊・吸収が進みます。治療法としては、外科的に嚢胞を摘出し原因となった歯の歯根の先端部分の切除術あるいは抜歯を行います。⇒ 嚢胞－のうほう

### ▶ 歯根膜－しこんまく

歯根の周りの歯と歯槽骨〔しそうこつ〕を結びつけている膜のこと。線維性の結合組織で、噛むときの衝撃をやわらげるクッションの役割や歯に血管からの栄養を供給する役割をもっています。虫歯の進行が原因で、この部分が炎症を起こす病気を歯根膜炎〔しこんまくえん〕といいます。

### 歯式－しき

上下左右の歯の位置と状態（疾患・欠損・処置など）を記号により表す書式。

### 歯質－しつ

エナメル質、セメント質、象牙質など、歯の成分のこと。

⇒ エナメル質－エナメルしつ、セメント質－セメントしつ、  
象牙質－ぞうげしつ

### 歯周炎－ししゅうえん

歯肉〔しにく〕に発生した初期の歯周病である歯肉炎が進行し、歯を支えている歯槽骨〔しそうこつ〕にまで破壊が及んでいる歯周病の状態。歯槽膿漏〔しそうのうろう〕は歯周炎の一つです。

⇒ 歯槽骨－しそうこつ、歯槽膿漏－しそうのうろう

### 口臭症－じしゅうしょう

口臭の有無にかかわらず、自分の口臭が他人に不快感を与えていると信じ訴えること。患者自身の神経症的要素や心身症的要素が大きくかかわっており、口臭のことが原因で対人関係や社会生活に支障をきたす場合も見られます。歯科医院で専門医の臨床的な検査に基づくアドバイスを受けましょう。

⇒ 口臭－こうしゅう

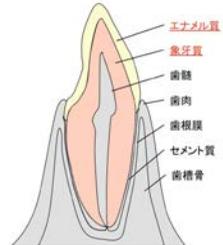
### 歯周組織－ししゅうそしき

歯の周りにある、歯の噛む機能を支える組織のことで、歯肉〔しにく〕、歯根膜〔しこんまく〕、セメント質、歯槽骨〔しそうこつ〕から構成されています。

⇒ 歯肉－しにく、歯根膜－しこんまく、歯槽骨－しそうこつ、  
セメント質－セメントしつ

[図29]

[図29] 歯質



### ▶ 歯周病－ししゅうびょう

歯の周辺組織にかかわる病気の総称。歯垢(しこう)が歯肉溝(しにくこう)に入り込んで、炎症を起こした状態のことで、歯肉の腫れ・出血を伴う歯肉炎(しにくえん)と、さらに症状が進行し、歯槽骨(しそうこつ)が破壊される歯周炎(ししゅうえん)に大別されます。また、歯周ポケットの深さにより歯周病の進行度は P1～P4 の 4 段階に分類されます。

⇒ 歯肉溝－しにくこう, 歯槽骨－しそうこつ,  
歯肉炎－しにくえん, 歯周炎－ししゅうえん

### ▶ 歯周ポケット－ししゅうポケット

歯と歯肉(歯ぐき)のすき間のことで、この深さが 3mm 以上であれば歯周病が疑われます。

### ▶ 歯周ポケット搔爬－ししゅうポケットそうは

歯の根についた歯石(しせき)や細菌に侵された歯肉(しにく)を徹底的に取り除いて歯周組織の炎症を改善し、歯周ポケットを浅くする外科的処置のこと。

### ▶ 歯髄－しずい

歯の中心部にあり、細い血管やリンパ管、神経などの集まった組織で、歯に酸素や栄養分を供給しています。

### ▶ 歯髄炎－しずいえん

歯髄に起こる炎症で、主に虫歯が進行し歯髄にまで達したとき、細菌の毒素により引き起こされます。ズキズキとした拍動性の痛みを伴います。

### 磁性アタッチメントーじせいアタッチメント

磁石の吸着力を利用した入れ歯を安定させる装置。  
保険適用外。

### 歯石ーしせき

歯垢(しこう)に唾液中のカルシウムなどが付着し石灰化して固まったもの。さらに、その上から新しい歯垢が付着し石灰化して、歯石は大きくなります。歯石が沈着すると歯周組織に炎症を起こし、歯周病の原因となります。歯石になると歯ブラシによる歯磨きでは除去できないので、歯科での専門的な清掃が必要です。

### 歯槽骨ーしそうこつ

歯を支えている顎の骨のこと。

### 歯槽膿漏ーしそうのうろう

正式名は「慢性辺縁性歯周炎ーまんせいへんえんせいししゅうえん」といい、進行した歯周病である歯周炎の一つ。昔は、一般的に歯周病全般のことを意味していました。

⇒ 歯周病ーししゅうびょう, 歯周炎ーししゅうえん

### 支台歯ーしだいし

クラウンやブリッジ、入れ歯を入れるときに、その補綴物(ほてつぶつ)を支える役割を果たす歯のこと。また、支台歯と補綴物を連結させるために支台歯に取り付けられる装置のことを支台装置といいます。

⇒ クラウン, ブリッジ

### ▼ 失活歯 - しかつし

抜髄〔ばつずい〕した後の神経がない歯のこと。神経を抜くと歯は弱くなります。 ⇔ 生活歯 - せいかつし

### ▼ GTR 法 - ジーティーアールほう

特殊な膜 (GTR 膜) を歯周病によって破壊された部分の骨に埋め込むことにより、歯周組織を再生させる治療方法。「歯周組織再生誘導法」ともいいます。

### ▼ 試適 - してき

完成した補綴物〔ほてつぶつ〕などが、ぴったりと口に合い、きちんと噛めるかどうかを見るために、仮に付けてみること。

⇒ 補綴 - ほてつ

### ▼ 歯内療法 - しないうほう

細菌に感染した歯髄〔しずい〕を取り除いたり抜髄〔ばつずい〕して、感染した根管を治療すること。

⇒ 根管治療 - こんかんちりょう

### ▼ 歯肉 - しにく

歯ぐきのこと。歯を支えている歯槽骨〔しそうこつ〕を守っています。

⇒ 歯槽骨 - しそうこつ

### ▼ 歯肉炎 - しにくえん

歯周病の初期症状で、歯肉 (歯ぐき) が炎症を起こして腫れたり、出血したりします。自覚症状があまりないため放置されることが多いですが、歯周病は歯肉炎の段階で治療することが大事です。

⇒ 歯周病 - ししゅうびょう, 歯肉炎 - ししゅうえん

### 歯肉溝－しにくこう

歯と歯ぐきのすき間のこと。ここに歯垢(しこう)が溜まると炎症を起こし歯周病の原因となります。

### 主訴－しゆそ

患者の来院動機となった、主な原因のこと。

### 上顎－じょうかく

上あごのこと。 ⇔下顎－かがく

### 上顎前突－じょうかくぜんとつ

[図30]

[図30] 上顎前突

いわゆる「出っ歯」のこと。上の前歯が前に突出していて常時、見えている状態。矯正治療により改善できます。

⇒ 不正咬合－ふせいこうごう, 下顎前突－かがくぜんとつ



### 笑気鎮静法－しょうきちんせいほう

麻酔の使用が好ましくない場合などに、低濃度の亜酸化窒素を酸素と混合して、鼻から吸入することによって、治療時の緊張感や不安を和らげる方法。笑気麻酔のこと。

### 小帯－しょうたい

頬や唇の内側の粘膜と歯ぐきとの間の細いひだのような部分のことで、それぞれの部位ごとに、上唇小帯(じょうしんしょうたい)・下唇小帯(かしんしょうたい)・頬小帯(きょうしょうたい)・舌小帯(ぜつしょうたい)といいます。

### 小児歯科－しょうにしか

歯のまだ生えていない乳児期から乳歯列期(乳歯のみ)、混合歯列期(乳歯と永久歯が混在)を経て、永久歯が生えそ

う学童期までの小児の歯の治療と口腔の成長管理を行う歯科診療科目。

### シラント

[図31]

[図31] シラント

虫歯になりやすい奥歯の溝などを、薄いレジン(プラスチック樹脂)やセメントでふさいで、虫歯になりにくする予防処置のこと。子供の初期虫歯の乳歯や生え変わりの永久歯を保護するためによく行われます。



### 歯列-しれつ

歯並びのこと。

### 歯列弓-しれつきょう

前歯から奥歯にかけて歯並びが弓のようなカーブを描いていること。

### 浸潤麻酔-しんじゅんますい

手術する場所へ直接注射し麻酔を効かせる、歯科治療で最もよく使われる麻酔法。体への負担が少ない局所麻酔で、虫歯治療や小範囲の外科的治療、抜歯の時に使われます。

⇒ 局所麻酔-きよしよますい, 伝達麻酔-でんたつますい

### 審美歯科-しんびしか

歯および口腔の外見的な美的要素を重視した歯科診療。歯科治療は基本的には、歯の機能的側面の回復に重点が置かれており、保険診療もそれに対応しています。一方、審美歯科は患者さんのニーズもあり、精神的・心理的なケアという側面から最近、重要視されてきています。審美歯科には、矯正歯科、美容歯科、ホワイトニング、セラミック材の使用などがあり、保険は適用されません。

### ▼ 浸麻-しんま

浸潤麻酔の略。⇒ 浸潤麻酔-しんじゅんますい

### ▼ スケーリング

歯に付着した歯垢(しこう)や歯石(しせき)を除去する治療。歯石は、ブラッシングでは取れず、スケーリングが必要です。

### ▼ ストップピング

治療で削った部分を一時的に封鎖する、仮の詰め物の一種。

### ▼ 3DS-スリーディーエス

バイオフィルム(歯に付着した細菌の群がり)をクリーニングで取り除いたあと、歯に直接抗菌剤を作用させて除菌を行う予防方法のこと。Dental Drug Delivery System の略。  
保険適用外。

### ▼ 3Mix-スリーミックス

3種類の抗菌剤を混ぜて作った薬剤のことで、細菌の感染を防ぐことで虫歯の進行を抑えます。保険適用外。

### ▼ 生活歯-せいかつし

歯髄(しずい)が生きている歯のこと。

⇔ 失活歯-しかつし ⇒ 歯髄-しずい

### ▼ 正中-せいちゆう

前歯の右側1番の歯と左側1番の歯の真中を歯科では正中といいます。

## 舌-ぜつ

舌(した)のこと。舌は味覚を感じるとともに、食物を攪拌(かくは)ん・嚥下(えんげ)する機能があります。また、舌は発音でも重要な役割を果たしています。

## 舌側-ぜっそく

歯の裏側、舌の側のことをいいます。 ⇔ 頬側-きょうそく

## セメント質-セメントしつ

歯根部の表面をおおう硬組織で象牙質を守っています。  
⇒ 歯質-しつ, 象牙質-ぞうげしつ

## セラミック

[図32]

材質が陶材の歯科材料で、前歯のかぶせ物などに使われます。磨耗や変色に強く、自然歯と調和し審美性に優れています。ポーセレン、陶材ともいいます。保険適用外。

[図32] セラミック



## 前装冠-ぜんそうかん

[図33]

中の部分は金属などを使い、外から見える部分を天然歯に近い白色の材質(アクリル樹脂や陶材)でつくるかぶせ物。  
⇒ 硬質レジン前装冠-こうしつレジンぜんそうかん

[図33] 前装冠



## 総義歯-そうぎし

上顎または下顎の歯をすべて失くした場合に、これを補綴(ほてつ)するための義歯(入れ歯)のこと。人工歯とそれを支える義歯床(ぎししょう)からなり、人工歯にはセラミックの陶歯(とうし)やプラスチックのレジン歯が使われ、義歯床にはアクリルレジン(樹脂)や金属が使われます。総義歯を維持・安定させるには、口腔内粘膜に十分適合させることが重要です。全部床義

歯(ぜんぶしょうぎし)ともいいます。

⇔ 局部床義歯-きよくぶしょうぎし ⇒義歯床-ぎししょう

### 象牙質-ぞうげしつ

歯の主要な構成部分で、エナメル質の内側にあります。

⇒ 歯質-ししつ, エナメル質-エナメルしつ

### 叢生-そうせい

[図34]

乱杭歯(らんぐいば)や八重歯(やえば)のことで、歯が重なって生えている状態。あごと歯の大きさの不調和や乳歯が早く抜けてしまった場合などに起こります。現代人はあごの骨格が小さくなったといわれており、この種の噛み合わせの不具合が増えています。歯科矯正治療により改善できます。

⇒ 不正咬合-ふせいこうごう



### 搔爬-そうは

歯周ポケット(歯と歯肉のすき間)の歯や歯根(しこん)に付着した歯石(しせき)や、細菌に侵された歯肉(しにく)の一部を除去すること。

## ▶ 大臼歯 - だいきゅうし

奥歯のこと。前から奥へ向けて上下左右に第一大臼歯、第二大臼歯、第三大臼歯（親知らず）の3種類があります。

## ▶ 唾液 - だえき

つばのことですが、唾液は口腔内に分泌される体液の総称で、主に左右一対ずつある顎下腺〔がつかせん〕、耳下腺〔じかせん〕、舌下腺〔ぜっかせん〕から分泌されます。この3つの腺を大唾液腺〔だいだえきせん〕と呼んでいます。唾液の99%以上は水分ですが、食べ物の攪拌〔かくはん〕・嚥下〔えんげ〕を助けるほか、消化作用、口腔内の酸性化を防ぐ、抗菌作用など重要な役割もっています。

## ▶ 脱灰 - だっかい

虫歯菌の作り出した酸が、歯の表面のエナメル質からカルシウムやリン酸を溶かし出す作用のことで、この状態が続くと初期の虫歯になります。 ⇔ 再石灰化 - さいせっかいか

## ▶ 知覚過敏 - ちかくかびん

虫歯ではないのに、熱いものや冷たいものが歯にしみたり、歯ブラシが当たると痛いと感じる状態。歯ぐきが痩せて歯根〔しこん〕部分が露出したり、エナメル質が薄くなって象牙質が露出したりすると、刺激が象牙細管〔ぞうげさいかん〕を通じて歯髄〔しずい〕（神経）に伝達されるため起こります。

## ▼ 智歯 - ちし

= 親知らず - おやしらす

## ▼ 挺出 - ていしゅつ

噛み合う相手の歯がなかった場合に、歯が元の位置から突出したりすること。

## ▼ 伝達麻酔 - でんたつますい

治療する部分の神経よりも中枢に位置する神経幹(しんけいかん)またはその周囲に局所麻酔(きょくしょますい)を行い治療部の神経を麻痺させる麻酔法。歯科では、広範囲にわたる外科的手術や手術部に浸潤麻酔(しんじゅんますい)を行えない場合に適応されます。

⇒ 局所麻酔 - きょくしょますい, 浸潤麻酔 - しんじゅんますい

## ▼ デンタルプラーク

= 歯垢 - しこう

## ▼ デンタルフロス

歯と歯の間に付着した歯垢(しこう)を取り除くために使う糸。

## ▼ デンチャー

入れ歯のこと。 ⇒ 義歯 - ぎし

## ▼ 疼痛 - とうつう

痛みのこと。何もしなくてもズキズキ痛むのを自発痛(じはつう)といいます。

### ▶ ドライソケット

歯を抜いた時、出血が少なく患部をふさぐ血餅(けっぺい) (かさぶた) ができずに患部が露出したままになり、歯ぐきや歯を支える歯槽骨(しそうこつ)が炎症を起し激しく痛む状態のこと。

### ▶ ドライマウス

唾液量が減り、口の中が乾燥すること。

⇒ 口腔乾燥症 - こうくうかんそうしょう

# な行

## ▼ ナイトガード

歯ぎしりによる歯や顎への負担を軽減するために、睡眠中に口の中にはめるマウスピースのような装置。

[図35] [図35] ナイトガード



## ▼ 2次う蝕 - にじうしょく

詰め物やかぶせ物で治療した歯が再び虫歯になること。

2次カリエスともいいます。⇒ う蝕 - うしょく, カリエス

## ▼ 嚢胞 - のうほう

固有の壁をもった球状の膿〔うみ〕のかたまりのこと。口腔領域では、嚢胞性の疾患が多く発生します。

⇒ 歯根嚢胞 - しこんのうほう

## ▼ 膿瘍 - のうよう

化膿性の炎症が原因で、局所の組織が融解〔ゆうかい〕し、膿〔うみ〕が溜まっている状態のことです。歯科では、虫歯が進行して歯髄〔しずい〕が壊疽〔えそ〕すると歯肉〔しにく〕に膿瘍が形成されることが多いです。

# は行

---

## ▼ ハイドロキシアパタイト

= アパタイト

## ▼ 歯ぎしりーはぎしり

歯ぎしりには、無意識のうちに睡眠中に歯をきませる「グライディング」のほか、意識下で習癖として行う「クレンチング」や「タッピング」などの種類があります。いずれも、歯の不正な磨耗につながり、噛み合わせやあごの骨に悪影響を与えます。ブラキシズムともいいます。

## ▼ バキューム

治療時に口の中の唾液や歯を削った細かい粉などを吸い取る治療機器のこと。

## ▼ パーシャルデンチャー

= 局部床義歯ーきよぶしよぎし

## ▼ 8020 運動ーはちまるにいまるうんど

自分の歯を、「80歳になっても20本残そう」という国民の健康を増進させる医療運動。

## ▼ 抜糸ーばっし・ばついと

縫合した糸を抜くことですが、歯科では抜歯〔ばっし〕と区別するため、「ばついと」と読むこともあります。

## 抜歯 - ばっし

歯を抜くことですが、通常、局所麻酔の「浸潤麻酔 - しんじゅんますい」と「伝達麻酔 - でんたつますい」を併用して行います。保存処置を行っても歯として機能しえない場合と、その歯が原因で周囲組織などに悪影響を与えている場合とに抜歯が行われます。前者は、進行のはなはだしい虫歯、歯槽骨〔しそうこつ〕が吸収されグラグラしている歯、歯根〔しこん〕の先端に病巣があり根管治療〔こんかんちりょう〕のできない歯などがこれにあたります。後者は、歯肉〔しにく〕に埋もれた埋伏歯〔まいふくし〕や過剰歯〔かじょうし〕、矯正や補綴〔ほてつ〕の観点から抜歯を必要とする歯などがこれにあたります。

## 抜歯窩 - ばっしか

抜歯した後の傷跡のこと。抜歯創〔ばっしそう〕ともいいます。

## 抜髄 - ばつずい

進行した虫歯で細菌に感染した歯髄〔しずい〕を取り除く治療のこと。⇒ 歯髄 - しずい

## パノラマ X 線装置 - パノラマエックスせんそうち [図36]

あごの骨全体を写す X 線装置のことで、顔の周りを回転しながら撮影します。通常 1 回撮影で 15～16 秒かかります。

[図36]  
パノラマ X 線装置



## 反対咬合 - はんたいこうごう

= 下顎前突 - かがくぜんとつ

## PMTC / PTC - ピーエムティーシー / ピーティーシー

プロフェッショナル・メカニカル・トゥース・クリーニングの略で、歯科医師や歯科衛生士が専門器具を使用して、歯の表面の汚れや細菌の膜（バイオフィルム）を取り除くことを言います。

## ▼フィステル

虫歯や歯周病などより歯周組織にたまった膿(うみ)が、流れ出る穴のこと。

## ▼不正咬合 - ふせいこうごう

噛み合わせが正常ではないこと。不正咬合には以下のような種類があります。いずれも矯正治療により改善できます。

- ・叢生 - そうせい …………… 乱杭歯
- ・上顎前突 - じょうがくぜんとつ …………… 出っ歯
- ・下顎前突 - かがくぜんとつ …………… 受け口

## ▼ブラキシズム

= 歯ぎしり - はぎしり

## ▼プラーク

= 歯垢 - しこう

## ▼プラークコントロール

正しい歯磨きや食生活を改善することで、プラーク(歯垢 - しこう)の発生を予防すること。⇒ 歯垢 - しこう

## ▼ブラケット

矯正治療で使われる歯とワイヤーを固定させる装置のこと。

## ▼ブリーチング

= ホワイトニング

## ▼ブリッジ

抜けた歯の両側の歯を支えにしてつくる固定性の人工歯のこと。架工義歯(かこうぎし)ともいいます。

[図37]

[図37] ブリッジ



### フルデンチャー

総入れ歯のこと。⇒ 総義歯-そうぎし

### ペリオ

歯周組織あるいは歯周病のこと。

### 母子感染-ぼしかんせん

歯科における母子感染とは、乳幼児が母親とのスプーンの共有や口移しなどが原因で、虫歯菌が感染してしまうことをいいます。乳幼児には元来、虫歯菌は存在しません。

### ポーセレン

= セラミック

### 補綴-ほてつ

歯を削った部分や歯が抜けた部分に詰め物やかぶせ物、入れ歯などを入れること。また、詰め物やかぶせ物などを総称して補綴物〔ほてつぶつ〕といいます。

### ホワイトニング

歯を削ることなく、漂白剤を使用して歯の色を白くする治療法で、歯科医師の指導のもと家庭で行うホームホワイトニングと、診療室で行うオフィスホワイトニングがあります。ブリーチングや歯牙漂白〔しがひょうはく〕ともいいます。

### ポンティック

ブリッジにおいて抜けた歯の代わりとなる人工の歯のこと。

⇒ ブリッジ

## ▼埋伏歯 – まいふくし

[図38]

あごの骨の中に埋まっている歯のこと。親知らずや犬歯に多く見られます。埋伏歯は細菌感染しやすく、周囲組織に炎症を起こすなど悪影響がある場合は抜歯することが検討されます。

[図38] 埋伏歯



## ▼ミュータンス菌 – ミュータンスキン

虫歯の原因となる細菌の一種で、食物に含まれる糖質を分解してグルカンという物質をつくり、他の細菌とともに歯垢（しこう）の原因を作り出します。⇒ 歯垢 – しこう



## ▼メタルプレート

= 金属床義歯 – きんぞくしょうぎし

## ▼メタルボンド

[図39]

歯のかぶせ物の一種で、強度を増すために金属の外側にセラミック（陶材）を焼き付けてあります。保険適用外。

[図39] メタルボンド



### ▼有床義歯－ゆうしょうぎし

口腔粘膜と直接接する義歯床(ぎししょう) (義歯を支える土台の部分)をもった、取り外し可能な入れ歯のこと。

⇒ 義歯－ぎし, 義歯床－ぎししょう

### ▼ユージノールセメント

根管治療(こんかんちりょう)などに使用される、鎮痛・消炎・殺菌作用のある治療材料。 ⇒ 根管治療－こんかんちりょう

### ▼ユニット

歯科診療用の椅子のこと。診療のための一連の器具・装置を含む。

### ▼予防歯科－よぼうしか

虫歯や歯周病にかかる前に、事前に行う予防のための歯科治療のこと。

## ▼ラバーダム

治療する歯以外の部分をおおうゴム製の薄い膜のこと。唾液が患部に落ちるのを防ぐとともに異物が口の中に落ちないようにする効果があります。

## ▼ラミネートベニア法 – ラミネートベニアほう [図40]

おもに前歯の審美性の回復のため、歯の表面を薄く削り、セラミック製の薄い板をセメントではり付ける治療法。保険適用外。

[図40] ラミネートベニア法



## ▼乱杭歯 – らんぐいば

歯が重なって生えている状態。 ⇒ 叢生 – そうせい

## ▼裏装 – りそう

入れ歯の裏側を新しく裏打ちして、入れ歯を口により適合させること。

## ▼リーマー・ファイル

根管治療(こんかんちりょう)に使う、細い針金のような歯科器具。 ⇒ 根管治療 – こんかんちりょう

[図41] リーマー・ファイル



## ▼ルートプレーニング

歯根(しこん)に付着している歯石(しせき)などを取り除き、再付着を防ぐために歯根の表面を治療器具により平らでなめらかにすること。

## ▼レジン

樹脂(プラスチック)の歯科材料。保険適用。

## ▼レジン床義歯－レジンしょうぎし

入れ歯の土台部分「床-しょう」がレジン(合成樹脂・プラスチック)で作られている入れ歯のこと。保険適用。

[図42] [図42] レジン床義歯



# わ行

---

## ▼ 矮小歯 – わいしょうし

大きさが著しく小さい歯のこと。1 歯ないし数歯現れる場合とすべての歯が小さい場合があります。前者の場合が多く、過剰歯〔かじょうし〕の場合にも矮小歯が見られます。

⇒ 過剰歯 – かじょうし

## ▼ 彎曲歯 – わんきょくし

歯の形態異常の一つで、歯根部〔しこんぶ〕あるいは歯頸部〔しけいぶ〕で著しく彎曲している歯のこと。歯根形成期における外傷あるいは病的変化が原因と考えられています。

視覚素材 提供者リスト（五十音順、敬称略）

板垣 恵輔（歯科放射線学講座）  
上田 甲寅（口腔解剖学講座）  
岡崎 定司（欠損歯列補綴咬合学講座）  
武田 昭二（歯科理工学講座）  
竹安 正治（小児歯科学講座）  
田中 順子（有歯補綴咬合学講座）  
鳥井 克典（有歯補綴咬合学講座）  
林 宏行（口腔治療学講座）  
藤井 孝政（有歯補綴咬合学講座）  
前田 照太（臨床研修教育科）  
松本 和浩（口腔外科学第一講座）  
松本 尚之（歯科矯正学講座）  
三宅 達郎（元 口腔衛生学講座）  
株式会社M1夕  
山本 一世（歯科保存学講座）  
吉川 一志（歯科保存学講座）

# 患者さんのための歯科用語集

---

平成 26 年 3 月 31 日 発行

編集・発行 大阪歯科大学公開講座委員会  
〒573-1121 枚方市楠葉花園町 8 番 1 号